N コマンド（ノイズ周波数設定）

[書式]

N<num>

ノイズ周波数を設定します（Noise）。

<num> で周波数を指定します。設定可能範囲は 0 〜 31、もしくは 255 です。

OPM トラックの場合

OPM の Ch.8/OP4 にあるノイズジェネレータを制御します。トラック A 〜 H 上で実行するとトラック H（OPM#1 の Ch.8）、トラック I 〜 P 上で実行するとトラック P（OPM#2 の Ch.8）が制御対象になります。

このコマンドはノイズ出力 / 停止コマンドも兼ねていますので、周波数の指定と同時にノイズ出力が有効になります。

255 でノイズ出力を停止します。初期値は 255 です。

なお、PSG のノイズジェネレータの仕様に準拠していますので、0= ホワイトノイズ、31= ピンクノイズとなっています。OPM レジスタと同等の値ではありませんので、他の環境からデータを流用する際は、値の大小を逆にする必要が生じるかもしれません。

PSG トラックの場合

全チャンネル共通のノイズジェネレータが制御対象です。

ノイズ出力のオン / オフは P コマンド (PSG) で行います。

PSG レジスタと同等の値で、0= ホワイトノイズ、31= ピンクノイズです。

関連

P コマンド (PSG)